

アルミ型材の 曲げ技術向上による短納期製品の実現

【対象類型】

ものづくり技術 試作開発+設備投資

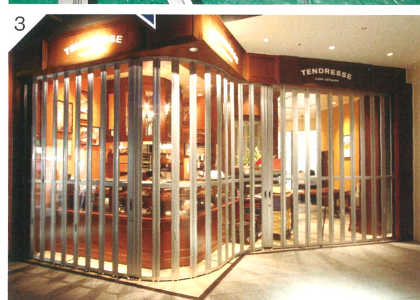
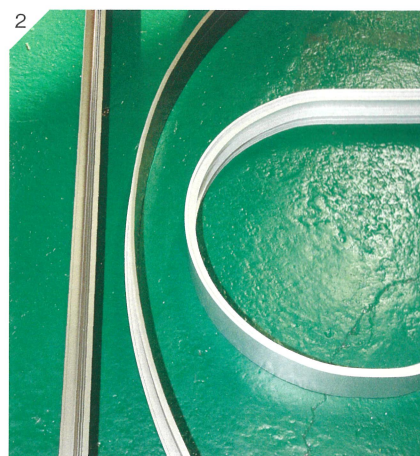
【競争力強化の形態】

小口化・短納期化

【目的】

技術革新

東工シャッター 株式会社



1／「イスターカーテン」用の金属レールをしなやかに曲げていく曲げ加工設備 2／曲げ加工設備を使い、金属レールが直線(左)から半径30センチの急カーブ(右)に変身する 3／都心の店舗に設置した曲線タイプの「イスターカーテン」。導入した曲げ加工設備を使えば、さらに小半径の曲線にも対応できる

柔軟な曲げ加工で多様なオーダーに対応。

カーテンのような横引きの折戸「イスターカーテン」シリーズで、折戸の金属レールを任意の半径で曲げられる加工設備を導入した。

「イスターカーテン」は、シャッターのように内側と外側を仕切りながらも、内外を見通せるという東工シャッター独自の商品。商業施設内の店舗の間仕切りや、オープンカフェの窓代わりなどとして、幅広い用途で使われている。福祉施設や学校での需要も増えている。

通常のシャッターのように、直線的な設置例が多かつ

たが、近年、開放的な空間を演出するために間口が曲線となった店舗や施設が増加。「イスターカーテン」も曲線の間口に合わせたデザインが求められるものの、従来の設備では、レールを半径1メートルまでしか曲げられず、対応に限界があった。

導入した曲げ加工設備は、レールを、緩やかなカーブから半径30センチの急な曲げまで自在に加工。作業にかかる時間も短くなり、より複雑なオーダーに迅速に対応えられるようになった。

難題の設備 メーカーと苦心。

一定の半径に曲げる設備は容易だが、任意の半径に曲げる設備の実現は困難だった。モーターのパワーや圧力、金属レールをあてがうローラーの形状など、メーカーとあらゆる調整を行った。

柔らかな印象 空間も最大限活かす。

半径30センチの曲線を使った「イスターカーテン」は一見、直角のカーテンに見える。ただ、完全に直角なものに比べて柔らかな印象を与え、内部の空間はぎりぎりまで生かせるのが特長だ。

曲線を活かした シリーズ追加に期待。

建物などの大きな開口部を全開できる「イスターカーテン」は、近年着実に需要が伸びている。設備導入をきっかけに曲線を生かしたシリーズの追加を目指し、商品全体の売り上げ増を狙う。

ものづくり専門員から一言

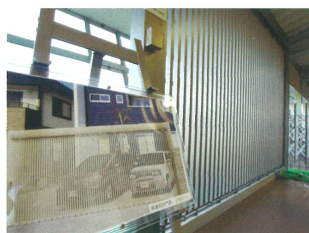
ニーズを直接把握して 迅速な対応。

東工シャッターは、開発から最終商品の販売までを手掛けています。「イスターカーテン」のあらゆる曲線への対応は、市場ニーズを直接把握できる企業だからこそ、スピード感を持ってなしたのでしょう。

こんな
会社です!

オンリーワンで ナンバーワン。

「オンリーワンでありナンバーワン企業」というポリシーを貫いています。シャッターは「上から下ろし、内側が見えないもの」という常識を破り、昭和45年、横からスライドさせて内側が見通せる「イスターカーテン」を開発。伸縮する門扉「カーテングート」シリーズを含め、収納する、折り畳むという分野で、日本初、業界初を目指してきました。開発スタッフは従業員の1割。「創業60年目のベンチャー企業」という果敢な姿勢で、全国津々浦々に至るまで弊社の製品を普及させていきたいです。



エクステリア商品の「シャレット」は、2014年度グッドデザイン賞を受賞した



本社ショールーム

東工シャッター 株式会社

代表者名: 代表取締役社長 佐々木知也
設立年月日: 昭和32年12月1日(創業は昭和30年)
資本金額: 9,800万円 従業員数: 167人
業種: アルミ建材製品の開発・製造・販売
企業規模: 平成26年度売上高35億7400万円
その他: 平成27年で創業60年

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100
☎ 0778-62-1122 FAX 0778-62-2234
URL www.toko-ss.co.jp/
E-mail toko@toko-ss.co.jp



代表取締役社長
佐々木知也さん